

コンビニエンスストアにおける 生鮮食料品の販売

ＪＡと山崎製パンによる過疎地等での店舗運営

～ 企業間連携によるお互いの強みを活かした運営手法 ～

1 概要

ＪＡ広島ゆたかと山崎製パン(株)は、広島県呉市の瀬戸内海に浮かぶ豊島で、ＪＡ広島ゆたかの支所購買店を山崎製パンのボランティアチェーンである「ヤマザキショップ」に改装して運営している。「ヤマザキショップ」では、ＪＡの支所購買店の機能を残しつつ、新たに山崎製パンから商品調達や経営指導機能を受け効率的に運営を行っている。

2 背景ときっかけ

ＪＡと山崎製パンが共同で取組を始めた端緒は、高齢化・過疎化が進んだ地域での小規模店舗の効率的な店舗運営を求めていたＪＡと、山崎製パンは自社の物流網や店舗運営のノウハウを役立てたいとの思いが合致し取組みを開始した。またＪＡ広島ゆたかの「ＪＡの地域における使命はＪＡの支所や店舗を維持し組合員の生活を守ること」の強い思いが、この連携した取組みを後押ししている。

3 取組の内容

1. 「ヤマザキショップゆたか山崎」の販売事例

対象地域: ヤマザキショップの周辺の約200世帯

販売商品: 生鮮三品、牛乳、パン、弁当、総菜、雑誌、日用品など

営業時間: 8時～18時 店舗によって営業時間などの運営内容は異なる

2. 商品供給などの共同運営体制について

(1) 商品供給体制について

米、野菜、果実等のＪＡの強みが活きる商品はＪＡから供給し、パン、弁当、乳製品、菓子、飲料、雑貨などのコンビニ商品は山崎製パンから供給している。

(2) 店舗運営体制について

定期巡回 : 山崎製パンの運営担当者が商品情報の提供や運営指導を実施

販売促進 : 販売企画の提案やチラシの提供を行い販売を支援

研修会開催: 販売方法や店舗運営方法などの研修を実施

情報提供 : 店舗活動計画、商品情報、他店販売状況などの運営に必要な情報を提供

4 取組の効果

生鮮品や日用品などの品揃えが充実し、地域住民へ円滑な食料品などの提供が行われている。

季節品や限定予約品などの新たな商品提供を行い、買い物の楽しさを提供している。

J Aの店舗を維持することでの生鮮品の提供機能や金融機能、ガソリン供給などの生活インフラ機能が維持されている。

5 取組上の工夫

商品供給面や店舗機能面などで、J A広島ゆたかと山崎製パンそれぞれの強みを活かした店舗運営をしている。

商品仕入体制の一本化(取引業者25社 5社程度)や発注先の統一による作業効率を改善しコスト削減に努めている。

6 今後の展望

J Aと山崎製パンと連携した取組を他県でも広げ、燃料供給や金融機能インフラをもったJ A購買店舗を維持すると共に買い物への支援を行っていく予定である。

地域によっては、買い物支援のバスの運行やタッチパネル式の端末や電話を使用した宅配等も検討し、買い物の支援を行っていく予定である。

7 参 考

J Aと山崎製パンが事業を展開している地域の概要

広島県呉市 (出所:平成17年国勢調査)

人口	251,003人
高齢者人口	64,140人(25.5%)
世帯数	99,378世帯
高齢夫婦世帯	14,036世帯(14.1%)

【J Aと連携した店舗】



【店舗外観】

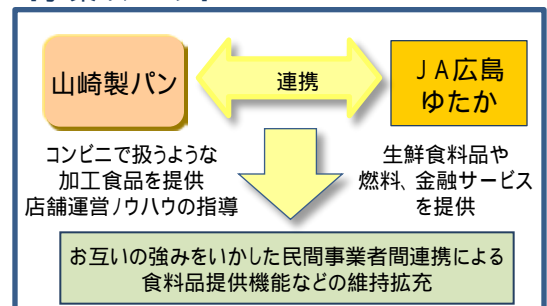


【生鮮品の売り場】



【コンビニエンス商品の売り場】

【事業イメージ】



【問合先】 山崎製パン(株)市場開発営業部 日高 塚田

住所:東京都千代田区岩本町3丁目10番1号 電話:03-3864-3279